

# 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	2,511,055	流動負債	279,900
現金及び預金	2,408,696	買掛金	11,996
未収入金	81,464	リース債務	21,526
商品	16,225	未払金	25,244
貯蔵品	2,414	設備未払金	116,996
前払費用	2,150	未払法人税等	50,505
その他の	104	未払消費税等	18,385
固定資産	3,810,019	未払費用	3,615
有形固定資産	3,655,756	前受金	10,054
建物	3,143,234	賞与引当金	10,819
構築物	8,369	役員賞与引当金	8,319
機械装置	201,607	その他の	2,437
車両及び運搬具	8,043	固定負債	890,064
工具・器具及び備品	254,317	リース債務	21,595
リース資産	23,405	預り保証金	71,252
建設仮勘定	16,780	退職給付引当金	113,557
無形固定資産	21,918	役員退職慰労引当金	17,299
電話加入権	569	資産除去債務	666,360
ソフトウェア	5,384	負債合計	1,169,964
リース資産	15,963	純資産の部	
投資その他の資産	132,344	株主資本	5,151,110
投資有価証券	22,000	資本金	1,125,000
長期前払費用	986	利益剰余金	4,026,110
繰延税金資産	109,030	利益準備金	67,133
その他の	327	その他利益剰余金	3,958,976
		別途積立金	2,800,000
		繰越利益剰余金	1,158,976
		純資産合計	5,151,110
資産合計	6,321,075	負債及び純資産合計	6,321,075

## 損 益 計 算 書

( 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで )

(単位:千円)

科 目	金 額
<b>営 業 収 益</b>	
売 上 高	416,251
貸 室 収 入	383,441
売 店 収 入	115,295
食 堂 収 入	76,576
使 用 料 収 入	484,369
広 告 収 入	59,294
付 帯 事 業 収 入	121,712
	<b>1,656,942</b>
<b>売 上 原 価</b>	<b>318,910</b>
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>1,338,032</b>
<b>販 売 費 及 び 一 般 管 理 費</b>	<b>1,187,470</b>
<b>営 業 利 益</b>	<b>150,561</b>
<b>営 業 外 収 益</b>	
受 取 利 息	222
雜 収 入	6,855
	<b>7,078</b>
<b>営 業 外 費 用</b>	
支 払 利 息	454
雜 支 出	1
	<b>456</b>
<b>經 常 利 益</b>	<b>157,183</b>
<b>特 別 利 益</b>	
国 庫 補 助 金 等 受 入 額	131,320
	<b>131,320</b>
<b>特 別 損 失</b>	
固 定 資 產 除 却 損	56,525
固 定 資 產 壓 縮 額	21,333
着 陸 料 等 助 成 補 助 金	109,993
	<b>187,852</b>
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>	<b>100,651</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	97,467
法 人 税 等 調 整 額	▲ 61,613
	<b>35,853</b>
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>64,798</b>

## 株主資本等変動計算書

( 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで )

(単位:千円)

資本金	株主資本					
	資本剰余金			利益剰余金		
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,125,000		—	62,633	2,600,000	1,343,678 4,006,311
事業年度中の変動額						
剰余金の配当			—		▲ 45,000	▲ 45,000
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立			—	4,500	▲ 4,500	—
別途積立金の増減			—		200,000 ▲ 200,000	—
当期純利益			—		64,798	64,798
事業年度中の変動額合計	—	—	—	4,500 200,000 ▲ 184,701	200,000 ▲ 184,701	19,798
当期末残高	1,125,000	—	—	67,133 2,800,000	1,158,976	4,026,110

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
当期首残高		5,131,311		—	—		5,131,311
事業年度中の変動額							
剰余金の配当		▲ 45,000		—	—	▲ 45,000	
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立		—		—	—		—
別途積立金の増減		—		—	—		—
当期純利益		64,798		—	—		64,798
事業年度中の変動額合計	—	19,798	—	—	—	—	19,798
当期末残高	—	5,151,110	—	—	—	—	5,151,110

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの……………移動平均法による原価法

#### (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商 品……………売価還元法による低価法

貯 藏 品……………移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産(リース資産を除く)…定額法によっております。

主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物 15～31年

構 築 物 10～20年

機械装置 10～17年

工具・器具及び備品 3～10年

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりますが、貨物ビル建物については解体撤去時期までの償却期間の短縮をいたしております。これにより、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ43,899千円減少しています。

#### (2) 無形固定資産(リース資産を除く)…定額法によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

#### (3) リース資産 ………………所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額零とする定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金……………従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

役員賞与引当金……………役員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額を計上しております。

退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末にお

いて発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

#### (貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	7,897,454千円
2. 国庫補助金等の受入により有形固定資産の取得価額から控除している額	94,271千円

#### (株主資本等変動計算書に関する注記)

##### 1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数

普 通 株 式 112,500株

##### 2. 配当に関する事項

###### (1) 配当金支払額

2019年6月17日開催の第41期定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額 45,000千円

1株当たりの配当額 400円

基準日 2019年3月31日

効力発生日 2019年6月18日

###### (2) 基準日が当事業年度の属する配当のうち、配当効力発生日が翌期となるもの

2020年6月10日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

配当金の総額 45,000千円

1株当たりの配当額 400円

基準日 2020年3月31日

効力発生日 2020年6月11日

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しております。

#### (税効果に関する注記)

##### 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

##### 固定資産

賞与引当金 3,295千円

未払事業税 3,033千円

退職給付引当金 34,589千円

役員退職慰労引当金	5,269千円
減価償却限度超過額	13,807千円
資産除去債務	46,529千円
その他	2,508千円
繰延税金資産合計	109,030千円

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達することとしております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収入金は、取引先企業等の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

営業債務である買掛金及び未払金は、1年以内の支払期日です。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（注2参照）。

	貸借対照表計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	2,408,696	2,408,696	—
(2) 未収入金	81,464	81,464	—
(3) リース債務（*1）	(43,122)	(43,501)	378

※負債に計上されているものについては、（ ）で表示しております。

（\*1）リース債務（流動負債）を含めております。

（注1）金融商品の時価の算定方法に関する事項

（1）現金及び預金、（2）未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（3）リース債務

元利金の合計額をリスクフリーレートで割り引いて算出する方法によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

	貸借対照表計上額(千円)
（1）投資有価証券	22,000
（2）預り保証金	71,252

（1）投資有価証券

非上場株式については、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

(2) 預り保証金

賃貸物件における賃借人から預託されている受入敷金保証金は、市場価額がなく、かつ、賃借人の入居から退去までの実質的な預託期間を算定することは困難であることから、合理的なキャッシュ・フローを見積もることが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

(賃貸等不動産に関する注記)

1. 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社は、愛媛県松山市において、賃貸用の旅客・貨物ターミナルビルを有しております。

2. 賃貸等不動産の時価に関する事項

貸借対照表計上額(千円)	時価(千円)
2,711,636	2,711,636

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当社の賃貸等不動産は建物等減価償却資産のみであり、正規の減価償却計算後の適正な帳簿価額に基づいた金額を時価として記載しております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額	45,787円64銭
2. 1株当たり当期純利益	575円98銭

(資産除去債務に関する注記)

当社は、国有財産使用許可に基づき使用する土地について、返還時における原状回復に係る債務を有しております。これらのうち解体、撤去の時期が明確となった貨物ビルについては当年度より資産除去債務を計上しております。資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は取得から2～3年間、割引率0.0%を採用しております。当事業年度において資産除去債務に計上した金額は666,360千円であります。当事業年度末における資産除去債務残高は、上記金額666,360千円と時の経過による資産除去債務の調整額0千円の合計666,360千円であります。

なお、旅客ビルについても返還時における原状回復に係る債務を有しておりますが、返還時期が明確でなく、資産除去債務を合理的に見積もることができないため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(その他の注記)

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。